

# 第 16 回 関愛会 学術集会

## 大会テーマ『地域包括ケア時代』への道標—その実践と可能性—



我が国の社会保障制度全体において、大きな節目となる「2025年」を10年後に控え、医療・福祉・介護の領域は過渡期です。様々な地域や機関で試行錯誤が成されています。その象徴が「地域包括ケアシステム」です。

近年の諸制度の改定、改正等の変化に対し、その都度、我々は戸惑います。

それは何故か？

それは歴史上経験の無い高齢化社会に対し、国も、地域も、我々現場も、全てが手探りの状態であるからではないでしょうか？

その様な中での「地域包括ケアシステム」には、我々自身が構築し、発信し、共に造り上げることができる可能性がある、その答えは我々が支える「地域」、「現場」にある。そう考えます。

様々な事例を通じ、議論を深め、大会テーマである「『地域包括ケア時代』への道標」を探求する機会として「第16回関愛会学術集会」を開催致します。

主催：社会医療法人関愛会

**日程：平成27年9月19日（土）（14：30 受付開始）15：00-18：30**

**会場：ホルトホール大分 大会議室**

定員：300名（地域の医療・介護関係者等）

参加費：無料

後援：大分市、豊後大野市、大分県立看護科学大学、（学法）後藤学園 智泉福祉製菓専門学校 藤華医療技術専門学校、大分合同新聞社、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、FM大分、（一社）大分県地域医療研究会、（公社）大分県看護協会、（公社）大分県薬剤師会、（公社）大分県理学療法士協会、（公社）大分県作業療法協会、（公社）大分県言語聴覚士協会、（公社）大分県栄養士会、（公社）大分県臨床検査技師会、（公社）大分県放射線技師会、（公社）大分県臨床工学技士会、（一社）大分県歯科衛生士会、（一社）大分県医療ソーシャルワーカー協会、（公社）大分県社会福祉士会、（一社）大分県介護福祉士会、（特非）大分県介護支援専門員協会

大会内容： 開催日 平成 27 年 9 月 19 日 (土) 会場 ホルトホール大分 大会議室

第 1 部 (15:00-16:50) パネルディスカッション『地域包括ケア時代』への道標 —その実践と可能性—

座長：社会医療法人関東会 理事長 増永義則

発言者 1：「大分市における地域包括ケアシステム構築への取り組み」

大分市役所 福祉事務所 長寿福祉課 課長 後藤 剛 先生

発言者 2：「他職種ネットワーク作りの効果」

(株) 福祉の杜いまじん代表取締役 主任ケアマネージャー 工藤美奈子 先生

発言者 3：「『訪問看護多機能化モデル事業』から見えた訪問看護ステーションの可能性」

社会医療法人敬和会 在宅事業管理部長 大分豊寿苑訪問看護ステーション管理者 佐々木真理子 先生

発言者 4：「社会医療法人関東会の地域包括ケア実践」

社会医療法人関東会 会長 長松宜哉

第 2 部 (17:00~18:30) 研究発表

第 1 座 座長：宇都宮健志 (社会医療法人関東会三重東クリニック 関東会第 3 ブロック事業統括)

①「『温泉に行きたい』との希望に対する支援～あきらめない心、活動・参加に向けて～」

こうざきクリニック訪問リハビリテーション事業所 板井一弘 (理学療法士)

②「患者様の意思決定を支える～『訪問診療確認事項表』を用いた取り組み～」

在宅医療連携センター 主任 玉井進 (社会福祉士)

③「当院における薬剤師業務と今後の可能性」

佐賀関病院 薬局 高木繁薫 (薬剤師)

④「こうざきもみの木での作業活動の取り組みについて」

こうざきデイケア・リハビリテーションセンターもみの木 後藤志保 (作業療法士)

第 2 座 座長：甲原芳範 (社会医療法人関東会こうざきクリニック院長 関東会第 2 ブロック事業統括)

⑤「きよかわもみの木の諸活動とその視点」

きよかわリハビリテーションセンターもみの木 主任 後藤智穂 (理学療法士)

⑥「穏やかな最後を迎える為のサポート～急変に直面した時の介護士の対応について～」

介護老人保健施設せきの郷 内田育男 (介護福祉士)

⑦「回復期リハビリ病棟における他職種との関わり方の見直し」

佐賀関病院 3 階病棟 主任 石橋朋子 (看護師)

⑧「連携における考察～在宅医の立場から～」

坂ノ市クリニック 院長 管 聡 (医師)

参加申込書 (FAX097-574-7712 坂ノ市クリニック内 高橋、玉井宛)

申込担当者氏名	
所属機関	
連絡先	

※お申込み締切：平成 27 年 9 月 16 (水)

※駐車場に限りが御座います。出来るだけ公共交通

機関でお越し下さい。

御名前	職種	御名前	職種
①		④	
②		⑤	
③		⑥	